

CV-22オスプレイの横田基地への配備に対する意見書

日本政府は8月22日、アメリカ空軍の輸送機CV-22オスプレイ5機を本年10月1日に横田基地に配備する旨、在日アメリカ軍から連絡があったことを発表した。さらに2024年頃までに、あわせて10機の体制にする計画で、今後、段階的に5機を追加するということである。

しかしながら、一時的に立ち寄っているCV-22オスプレイ5機は、今年の6月以降、現在まで既に長期間留まり、10月配備とは別に、飛行訓練が繰り返されているのが現状である。最近では昼夜を問わず、人口密集地である市街地上空も事前通告なしで飛行を繰り返している。過去の墜落事故やトラブルが脳裏をよぎり、八王子市民からは不安の声が上がっている。今後、正式に配備されることとなれば、この飛行訓練は常態化することが懸念され、強く憂慮する。

よって、八王子市議会は、10月1日の配備について、過去のオスプレイの事故の徹底した原因究明と再発防止策を求める。そのうえで、オスプレイに関する迅速かつ正確な情報提供、安全確保、飛行騒音対策等、生活環境への配慮を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

2018年9月21日

議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣
防衛大臣

あて